



第544号 令和5年11月1日
発行所 京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町601-1 こどもみらい館2階
TEL (075) 256-0351
FAX (075) 241-3568
発行人 杉本英造

令和5年度 京都市学校保健会 健康教育シンポジウム
学校管理下の事故を考える～子どもたちの健やかな未来のために～
10月17日 京都市教育センター

会長 杉本英造

第一部「学校における心停止の現状と対策」

神奈川工科大学健康医療科学部 特任教授 鮎澤 衛氏

第二部パネルディスカッション

パネリスト

岡 悦久氏 京都市消防局 消防学校 教育
管理課 救命講習係長

佐々木智弘氏 向島藤の木小学校 安全主任

竹崎 優氏 西京高等学校附属中学校 養護
教諭

コーディネーター：古口賢一氏 嘉楽中学校 校長

司会：古田知史氏 山科中学校 校長

第一部では 学校災害共済給付制度からのデータから学校管理下の心臓系突然死は、この30年間で明らかに減少。年間50例前後の心停止が発生しているが、2005年からAED使用した蘇生成功例が増加し心臓系突然死は減少傾向にある。

原因疾患別の蘇生成功例（2008～2016年の心停止例）疾患分類

●学校心臓健診で指摘された致死的疾患：QT延長、WPW症候群●病院管理中の致死的疾患：先天性心疾患、複雑心疾患術後、大動脈弁狭窄症、心筋症、川崎病後遺症●剖検による診断：冠動脈起始異常、大動脈解離●事前に心疾患の診断なく、強い運動で倒れ、AED装着で通電指示のあったもの：特発性心室細動と分類。蘇生成功例は心疾患診断例が5割くらいに対し、原因不明・特発性心房細動群では70%と高かった。特発性心室細動、冠動脈異常など学校健診では発見できない疾患もあるので、事故が起こらないという期待はせず、「起きたらどうするか？」を想像する」ことが大事。救命処置+AEDと

の連携を継続・向上することが望まれる。スポーツ事故防止ハンドブックが紹介された。

第二部では 平成24年7月、京都市立養徳小学校の夏季休業中の水泳指導において、1年生の女子児童の尊い命を失わせる事故があり、子どもたちの命を守るため、『事故の未然防止』と『緊急時の対応』に適切に取り組めるよう、教職員一人一人の対応力と学校全体としての組織力を高めるための仕組みを構築し、事故で亡くなられた児童のお名前を冠した『HANAモデル』という名称の下「**実地訓練**」を継続。日常の取組：教職員が共通理解を図り、事故を未然に防ぐ。緊急時の取組：迅速な初動対応・組織的な対応・正確な情報の収集が紹介された。（詳細は京都市教育委員会：HANAモデル（**学校安全の取組**）を参照）AEDの設置場所の周知、休日は鍵がかかっていないか？事故発生時には、児童生徒名、事故状況、病状（意識・呼吸・外傷状況）、救急車対応、AED使用時刻、保護者への連絡などの情報共有や一連の動き、初期対応の役割分担を日頃の訓練でしっかり行うことが大切。そして事故対応には多くの職員が参加し、リーダーのもとに役割を果たす。スマホで連絡をとりあう時は、心臓マッサージや外傷処置などで手が離せないこともあるので、スピーカーモードにしておくことと便利。中学校では生徒保健委員会でAED実習を行い、生徒間でAEDの存在を周知することもしている。水泳学習時には、AEDをプールサイドに準備し、AEDを取りに行く無駄な時間をなくし、スマホで多くの職員が集まり協力する体制をとるなど、活発な意見交換が行われた。

令和5年度 子どもの健康週間「子育て支援シンポジウム」

父親だって楽しもうよ！～子育て応援団からのメッセージ

川岡東小学校 山内英子
(京都小児科医会 子育て支援委員会委員)

今年度も子どもの健康週間行事として、子育て支援シンポジウムを上記テーマにて、10月14日にWEB開催いたしました。

講演1はベテラン小児科医から父親への子育てアドバイス。

京都小児科医会子育て支援委員会委員の4名が担当して講演を行いました。

①赤ちゃんの向き癖 気になったらどうしよう？

はせがわ小児科 長谷川功先生

生後1～2か月の児に関する保護者の質問の中で、気になる向き癖に関するお話。保護者の監視のもと、うつ伏せ、腹ばいの練習をして、早いほど効果に期待ができる。

②子どもが病気になったらどうしよう？

山内医院 山内英子が担当しました。

子どもの病気のこと。ワクチン接種で病気が減っていること。

山内医院病児保育施設の利用状況から。COVID-19発生後の病気の変化。

③こどもにイライラどうしよう

京都市児童福祉センター 市川澄子先生

イライラの原因は、「寝なくてイライラ」「食べなくてイライラ」「言うこと聞かなくてイライラ」理想の子育てとは、気負わずに自然に育てられること。

愛情ホルモンオキシトシンについて。

④こんな俺でもいいのか？～子育てに父親が関わる意義～

父親が子育てに関わる意義について、医学的な立場からのお話。

男性だから向いていないということではなく、子どもと触れ合うことで子どもの扱いに「向いてくる」子育てに関する本の紹介もあり。

講演2は「パパの子育て家族の子育て～みんなで子育て考えよう！～」

大阪教育大学教授 附属天王寺小学校長 小崎恭弘先生にお話し頂きました。

3つの子どもとの関わり

1. 「快」を与えてくれる人

食事・排泄などの、お世話をしてくれる人

2. 安心・安定を与えてくれる人

いつもと一緒の関わり方、繰り返し同じことをしてくれる人

3. 興味・関心を与えてくれる人

遊びや楽しさがある人、変化をもたらす人を意識することで、子どもたちとぐっと仲良くなれる

子どもの特性を理解してその思いに適切に答えることにより、より良い関係性ができる。

子育てのバランス感覚

子どもを育てるには大きく二つの力「母性:やさしさ・包」と「父性:強さ・切」が必要。

ただし「父性=父親」ではない。子どもを育てる中で培われる力。

この二つのバランスを、夫婦や家族で意識しよう。

子育てを楽しもう

- ・家族の基本システムは夫婦
- ・まずは夫婦間の思いや考えを理解しましょう
- ・パパとママが違うということが大切
- ・子どもに豊かな環境を作って上げましょう
- ・親の役割は、自立させることです
- ・親の価値観を伝え、子どもの価値観を育てましょう
- ・いい親の条件とは？
- ・子育てはみんなですれば、しんどさ半分、楽しさ倍増です！

子どもの成長に合わせて、今の子どもとの時間を大切にしましょう。

今回はZoom参加10名、YouTube参加9名と少なかったので、質問はあまりありませんでした。が、YouTubeで質問したことが伝わっていなかったという意見もありました。Zoom参加ではチャットでなく直接発言ができれば嬉しい、とのご意向も頂きました。

アーカイブ配信による視聴回数が非常に多く、当初終了予定の10月23日の時点で286回でありましたので、2週間延長して11月13日まで視聴可能、と変更いたしました。

今までのこのシンポジウムは対面での参加形式でしたので、その日に聞いていただいていたのです

が、今後は、当日参加できない方も聞くことができるアーカイブ配信を続けていきたいと思います。

このシンポジウムは保護者対象に行っているものです。今後も続けていきますので、テーマについてのご意見をお待ちしております。

第25回ふれあい子ども相撲大会に行ってきました

川岡東小学校医 山内 英子

コロナのために長らく開催されていなかったふれあい相撲大会が、4年ぶりに10月15日（日）午後13時30分から京都市立大原野中学校にて開催されました。奥村先生が医務で出務されていたのですが、ご勇退されましたので、同じ西京区の私が行くことになりました。今までは9月下旬の土曜日の正午開催と決まっていたのですが、それでは私の仕事が終わってからでは間に合わないために、1年前から入念に開催日を検討し、今年は10月の日曜日開催と決まりました。厳しい残暑も過ぎ去り、午前中は秋晴れの爽やかな天候でしたが、始まる前に突然激しい雨が降り、テントの周りが水浸しになりました。が、無事に開催できたは良いものの、途中でまた雨に降られました。

参加児童は西京区洛西南ゾーンの5校のうちの4校、3年生15名（男子4チーム11名、女子2チーム4名）4年生24名（男子4チーム12名、女子4チー

ム12名*うち2名は3年生）5年生19名（男子5チーム13名、女子2チーム6名）とずいぶん少なくなりました。1チーム3名（先鋒、中堅、大将戦）なのですが、2名しかいない学校もありました。

怪我をされたのは4名のみ。派手な投げ合いの試合はなかったので、幸いいずれも擦り傷程度。土俵外でも裸足で歩いていたために、足の裏を少し切ったという試合外での、軽い処置で済むようなものだけでした。

小柄な体格のお子さんでも、腰が非常にしっかりしており、大きいお子さんに競り勝っていたり、負けた子が悔し泣きしていたり（それを見た子が泣かせてしまった…ってつぶやいていた）、なかなか見ているだけでも力が入りました。

洛西地域の児童の健全育成のため、次年度以降も開催を続けていくということでした。

令和5年度 第52回京都市小学生陸上競技記録会・ 第43回京都市小学生持久走記録会

松陽小学校医 守上 佳樹

令和5年10月28日土曜日にたけびしスタジアム京都（西京極）にて開催されました。陸上競技記録会100m走：463人（男219、女244）50mハードル走：74人（男45、女29）走り幅跳び：116人（男72、女44）走り高跳び：37人（男21、女16）ソフトボール投：211人（男146、女65）総計901人の参加者。（令和4年935人）持久走記録会（1000m）452人（男310、女142）の参加者。（令和4年587人）前年度のコロナに伴う少々再開の縮小版から、走り高跳びと50mハードル走が種目追加され、競技記録会らしさが戻ってきた印象がありました。医務記録【医師】メ

イントラック：守上 / サブトラック：村上医師（第二日赤病院）気分不良一名、転倒打撲捻挫八名、担当役員の足関節痛一名、鼻血一名。合計、朝9時から15時半頃までで十一名が医務室に連れられました。結果的には救急車を呼ぶような受傷者はおらず、当日の朝は雨が上がったばかりでスリップが懸念されましたが、大事なきを得ました。昨年よりも医務室対応者数はやや多い状態でしたが、滞りなく終了いたしました。子ども達が引き続き、走り続けられる道を作っていかねばと気持ちを新たに致しました。

第54回全国学校保健・学校医大会を視聴して（第3分科会）

東山泉小中学校医 長 村 吉 朗

本年の第53回全国学校保健・学校医大会は兵庫県神戸市において開催されました。第3分科会の概要を報告いたします。大会はハイブリッドでの開催となりました。残念ながらリモートでの質問が想定されていない為、質問は会場の参加者からのみで、出席者の少ない第3演題までは座長から以外は質問もなく終了する等少しさみしい感がありました。

以下に演題を記載します。

- 1 出雲市立第一中学校校区における小学1年生の15年間の生活習慣変化について
「すこやか委員会」のアンケート調査から
島根県 嘉村 正徳
- 2 沖縄県における「次世代の健康教育推進事業」の変遷
～令和4年度改訂版と電子ブックの作成、利用率の変化について～
沖縄県 白井 和美
- 3 札幌市学校健診での成長曲線有効活用への軌跡と健診後調査結果
新型コロナウイルス感染が児童生徒の体格指数に与えた影響
北海道 小池 明美
- 4 小児の肥満について 新型コロナ感染症による行動制限が与えた影響と新しい試み
岐阜県 小川 理栄子

- 5 姫路市における肥満児検診 ～40年間の推移と現状～
兵庫県 五百井 寛明
- 6 学校保健における運動器検診への整形外科医の関わり
岩手県 菅 義行
- 7 大阪市における運動器検診の実態と課題
大阪府 貴島 浩二
- 8 しゃがみ込みの運動指導
東京都 真田 玲子
- 9 奈良市におけるスコリオマップを用いた側弯症検診
奈良県 山本 聡
- 10 我が国における側弯症学校検診の現況と今後の展望
兵庫県 宇野 耕吉

新型コロナ対策が子ども達に行動変容を強い肥満傾向が強くなったことなどが報告されました。また第6演題以降は運動器検診に関する問題点の発表で、特に側弯検診につき発表がまとめられています。その中で私は客観的であると考えていましたモアレ検診が多くの問題点を抱えていることを知り、愕然とするとともに今後の側弯検診の実施に不安を感じました。

以上簡単に内容を記載いたしました。抄録が必要な方は事務局まで御連絡下さい。

第54回全国学校保健・学校医大会 in 兵庫

第4分科会「耳鼻咽喉科」報告

京都府耳鼻咽喉科専門医会理事 平 杉 嘉平太

秋本番の兵庫県神戸市にて、「子どもたちの健やかな成長を守る ～我々が守らなければ誰が守る！～」をメインテーマに、対面で積極的な意見交換が行える現地開催形式（オンデマンド配信あり）で本会が開催された。第4分科会「耳鼻咽喉科」では、①インクルーシブ教育・障害者補助援助システムの周知と導入方法や教職員向けの研修などに関する諸問題②成長に伴う切れ目のない支援が提供できる体制づくりの重要性と他職種との連携（伴走型支援の必要性）③障害の程度に関わらない全国統一した制度の確立、教育と福祉の連携④広く正確で高精

度の健診が出来るよう機器の校正・更新の有用性⑤定期健診疾患統計の変化（感染症の減少、地域格差の縮小）⑥新生児聴覚スクリーニング・乳児検診で発見できない後天性・遅発性難聴例の存在と学校健診の重要性の再認識⑦特別支援学校における健診の工夫（健診表の活用）⑧摂食嚥下障害児の給食指導への専門職による持続的関与の必要性、といったコアな内容であった。

本会の演題名と研究発表者名はプログラムをご参照ください。

[座長] 兵庫県耳鼻咽喉科医会会長 高原 哲夫
 神戸大学耳鼻咽喉科頭頸部外科特命教授 柿木 章伸

| 発表順 | 演 題 名 | 研究発表者名 | |
|-----|---|--------|---------|
| 1 | 大阪府教育委員会を対象とした難聴児・生徒に関するアンケート結果について | 大阪府 | 岡 崎 鈴 代 |
| 2 | 聴覚障害児支援中核機能モデル事業での学齢期難聴児支援に対する取り組み 伴走型支援の必要性を考える | 岡山県 | 片 岡 祐 子 |
| 3 | 軽度・中等度難聴児に必要な周辺機器について | 神奈川県 | 宮 浦 徹 |
| 4 | 広島市公立小中学校における健診用オージオメータ校正・更新実態調査の変遷 | 広島県 | 渡 部 浩 |
| 5 | 川崎市における耳鼻咽喉科定期健康診断 24年間の疾患別統計 | 神奈川県 | 吉 川 琢 磨 |
| 6 | 学校健診で難聴を疑われて精密検査を受けた児の検討 | 兵庫県 | 勝 沼 紗矢香 |
| 7 | 特別支援学校における耳鼻咽喉科学校健診のアンケート調査結果について | 兵庫県 | 佐 藤 信 次 |
| 8 | 特別支援学校の摂食嚥下障害児に対する学校医と言語聴覚士の給食指導の取り組み | 徳島県 | 島 田 亜 紀 |

第 54 回全国学校保健・学校医大会

特別講演 淡路島のサルから考える寛容性と協力社会

顧問 奥村正治

全国学校保健・学校医大会は、日本医師会主催で、実行は都道府県医師会が担当し、毎年開催されている。全国を順番に巡っているので、その特性を生かし、その土地柄の話しが、医学とは離れ、特別講演と称して文化講演が行われている。本年は淡路島のニホンザルの話しである。

講師は、大阪大学人間科学部講師・一般社団法人淡路ザル観察公苑理事の山田一憲先生です。

ニホンザルは本来最も専制的な社会構造を持つと言われており、攻撃行動が、優位個体から劣位個体に一方的になされ、劣位個体は優位個体の前では食物に手を出したり、近づいたりする事も出来ないのが、ニホンザル社会の極めて厳格な優劣関係に基づいて成り立っている世界である。

1981年に大学の先輩、小山たかまさ（スライドではなく口演の為、漢字不明）先生が、全国7地域（「嵐山モンキーパークいわたやま」も入ってます）からの研究で、特定の餌場に、少数のサルが入った場合、少ない目のサルのケンカがはじまる。又、少数ではなく大勢のサルが入ると多い目のケンカが発

生する。サルの多い少ないと、ケンカの多い少ないとは正比例するものである。ところが淡路島のサルはちょっとちがいます。淡路島ザルは多く入るがケンカは少ないと言う事を論文発表されました。

ニホンザルの世界は、約20年で世代が変わるので、世代が変わっても、この優劣関係の地域差の変化は認められませんでした。

又、1匹では引っぱれない程度の間隔のあいた2本のロープの先には1つの餌をくくりつけてある装置を使用し、2本のロープを2匹のサルが協力して引っぱる。ひいては餌にありつける。という実験で、淡路島群は、（成功例／引っぱった実験数）874/1488（59%）の成功率であった。他の地域の群は55/874（6%）の成功率となった。この事から、淡路島のニホンザルは、協力行動が認められた。淡路島のニホンザルは、パートナーとタイミングを合わせてロープを引く事が出来た。

一般的なニホンザルは専制的な特徴を持っている故、実験装置に準備された食物を独占したい優位個体が劣位個体を払いのけ、協力行動が成立しなかつ

た。淡路島の寛容なニホンザルでは、劣位個体が、報酬を得る事を、優位個体が許容する。立場の弱い者が報酬を得る事を、立場の強い者が許容する寛容性こそが、協力行動を成立させる条件である事が示された。

口演者等は、淡路島のサル公園を、「一般社団法人淡路ザル観察公苑」として法人を立ちあげ

- 淡路ザルの保全・管理（従来の公園の目標と同じ）
- 出前授業や観察会などを通して社会教育
- 若手研究者の支援・発掘。若手研究者の最前線を一般来園者に紹介。

この3つの目的のもと、研究者の実験を一般の人に

見ていただき、淡路ザルを見て、今の人間社会を考える事を目指しているというお話しでした。

質疑応答の中で、淡路島のニホンザルの中に寛容性を持つ遺伝子も見つかり、他の地域のニホンザルより淡路ザルは、この遺伝子を多く持つサルが多かったとも話されました。

話の中にはありませんでしたが、プログラム・抄録集の冊子の中には、サルの餌を文字状に置いて淡路ザルに食べさせると、食物の取り合いのケンカが少なく、食物の文字と同じサル文字が淡路ザルでは出来るとも書かれていました。

第 6 回 常任理事会

令和5年11月4日 於 事務局

出席者 杉本会長、井本・山内副会長、安野専務理事、西村・守上各常任理事、嶋元眼科学校医会理事、平杉耳鼻咽喉科専門医会理事、林議長、長村・東道監事、木崎顧問

会長挨拶

<報告事項>

1. 精神衛生研究会 10 / 12
2. 令和5年度子どもの健康週間(日本小児科学会) 行事 子育て支援シンポジウム WEB講演会 10 / 14 山内
3. ふれあい子ども相撲大会 10 / 15 山内(4年ぶり開催)
4. 色覚相談 10 / 17 2名
5. 令和5年度 京都市学校保健会 健康教育シンポジウム 10 / 17 杉本・井本
6. 令和5年度 一般社団法人京都府歯科医師会 会員大会 10 / 21 杉本
7. 令和5年度 全国学校保健・安全研究大会 10 / 26 ~ 10 / 27
8. 第54回全国学校保健・学校医大会in兵庫 10 / 28 杉本・井本・長村、奥村顧問、オンデマンド(11/6 ~) 平杉先生・嶋元先生

9. 第52回陸上記録会・第43回持久走記録会

10 / 28 守上

10. 12月2日の理事会から平杉先生→松波先生に変更
11. 予算執行報告について
12. 令和6年4月20日(土)の総会講演会講師は丹波焼の市野勝磯氏に決定
13. その他

<協議事項>

1. 感染症罹患時の出席停止と登園届の対応について
2. 成長曲線について(日本学校保健会・成長曲線活用研修会11/1 ~ 1/31まで動画配信)
3. 色覚相談事業への助成金について
4. 令和6年度全国学校保健・安全研究大会及び、第55回全国学校保健・学校医大会・宮崎について 令和6年11月7日(木) ~ 9日(土)
5. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 11 / 7
2. 精神衛生研究会 11 / 9 14:00 ~
3. 京都市学校保健研究発表会及び表彰式 11 / 18 14:00 ~ 於:京都市総合教育センター 西村・山口先生ご受賞
4. 第7回常任理事会 12 / 2 14:00 ~
5. その他